

令和 8 年度福祉施設・事業所防災セミナー 開催要項

－災害時も誰一人取り残さない地域をめざして－

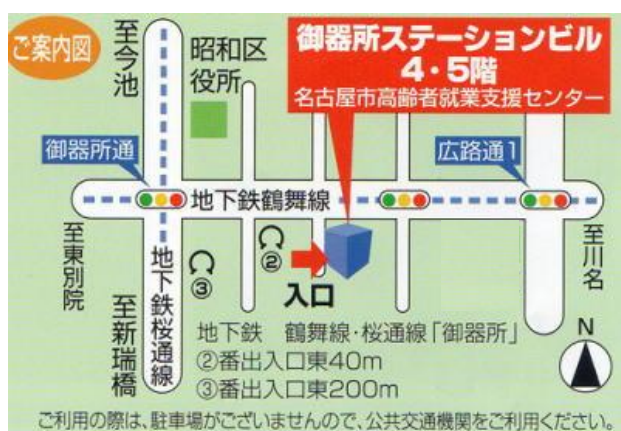
- 1 趣 旨 少子高齢化に伴う人口構成変化やコロナ禍を経た働き方・暮らし方の多様性の進展で、私たちの地域は以前とは異なる状況となっています。近年の災害では、避難の遅れや被災者支援の難しさが指摘され、阪神淡路大震災から進められてきた「地域での助け合い」を前提とした災害時対応の限界も指摘されています。

今回のセミナーでは長年にわたって数々の被災地で支援活動に携わり、2024 年の能登半島地震では「被災高齢者等把握事業」による輪島市での全世帯訪問活動をコーディネートされた講師をお招きします。災害時の実際の課題や支援活動から見てきた教訓から、今後の福祉施設・事業所に求められる役割について考えます。

- 2 日 時 令和 8 年 10 月 6 日（火）13:00～16:00

- 3 場 所 名古屋市高齢者就業支援センター 5 階大会議室

名古屋市昭和区御器所通 3-12-1 御器所ステーションビル 電話 052-842-4691



- 公共交通機関をご利用下さい。

- 地下鉄「御器所」駅下車
(鶴舞線) 2 番出口より東へ 40m
(桜通線) 3 番出口より東へ 200m

- 建物西側入口からエレベータで
5 階にお上がりください。

- 4 参加費 無料

- 5 定 員 100 名（応募多数の場合、事務局からご連絡することがあります）

- 6 参加対象 名古屋市内の福祉施設・福祉サービス事業所職員など

- 7 プログラム

時 間	内 容
13:00～13:05	開会挨拶・趣旨説明
13:05～14:35 (質疑応答を含む)	講演 「災害時も誰一人取り残さない地域をめざして ～福祉施設・事業所に求められる役割～」 講師 田村太郎氏（一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事） 兵庫県伊丹市生まれ。 阪神・淡路大震災で被災した外国人への情報提供を機に、1995 年「多文化共生センター」を設立。自治体国際化協会参事等を経て、2007 年にダイバーシティ研究所を設立。代表理事として企業や自治体による人の多様性配慮の推進に携わる。 東日本大震災直後に内閣官房企画官に就任し、「震災ボランティア連携室」で官民連携による被災地支援を担当した。復興庁発足後は上席政策調査官、14 年より復興推進参与を兼務。
14:35～14:40	休憩・舞台転換
14:40～15:50	グループワーク「福祉事業所クロスロードゲーム」 南海トラフ巨大地震の発生を想定して、24 時間以内に起こりうる課題を提示し、福祉専門職としてのケアと安全確保のジレンマを反映させた、正解のない「Yes/No」の判断をしていただきます。ゲームの目的は Yes/No どちらが正しいかを決めることではなく、なぜそう判断したのかという理由を共有することです。立場が変わると応えが変わる面白さ（難しさ）を体験することで、現実味を帯びた具体的な議論を体験します。
15:50～16:00	閉会挨拶（名古屋市からのお知らせ）

- 8 主 催 名古屋市健康福祉局監査課

お問い合わせ 防災セミナー事務局＝社会福祉法人 A J U 自立の家 わだちコンピュータハウス
電話：052-841-9888 FAX：052-841-1015 メール：bousai@aju-cil.com

10月6日福祉施設・事業所防災セミナー 参加申込書



<https://forms.gle/7kEC1mwoSY9XH2sE7>

←申込フォーム、ファックスまたはメールにてお申し込み下さい。

団体名		施設 種別	入所系・通所系・訪問系	
			身体・知的・精神・高齢者	
			宿泊施設・その他（ ）	
所在地				
TEL		FAX		
Eメール				
参 加 者 氏 名				
	所属／役職	ふりがな 氏 名		
1				
2				
講師に聞きたいこと				
備考（手話・要約筆記等の情報保障について、その他ご要望）				
車いす使用者 名				

申し込み締め切り **8月28日（金）**

お申込、お問い合わせ先



社会福祉法人 A J U 自立の家わだちコンピュータハウス

防災企画グループ 担当 大島・水谷

FAX : 052-841-1015 または E-mail : bousai@aju-cil.com

お申込ありがとうございました。
セミナー開催の1週間前までに受付IDをメール送信します。
当日受付にてメール又はFAXを提示下さい。よろしくお願いします。